

目指す姿	取組みの柱	求められる政策	具体的な政策	政策を横断して貫く考え方
<p>・働き方改革と生産性向上等の取組を強力に推進し、国民の安全・安心や経済成長に持続的に貢献する</p> <p>・良質な建設サービスを高い水準で確保し、個々の発注者や消費者の利益を実現し、信頼を確保する</p>	<p>業界全体、発注者・設計者等との連携による働き方改革</p>	<p>○建設業で働く人の処遇を改善する</p> <p>○現場の安全性を高める</p> <p>○適切な工期を設定する環境を整える</p> <p>○休日の拡大に向けて環境を整える</p> <p>○働く人を大切にする業界・企業であることを明らかにする</p> <p>○若者がキャリアパスを描きやすくする</p> <p>○担い手の育て手を確保する</p>	<p>政策群①</p>	<p>○国民目線での評価を重視する</p> <p>○建設産業における企業としての健全性を高める</p> <p>○建設産業で働く人やものづくりの現場に光を当てる</p> <p>○建設生産システム全体の最適化を図り、持続力を高める</p>
	<p>業界全体、発注者・設計者等との連携による生産性向上</p>	<p>○建設産業の各プレイヤーの役割と責務を明らかにする</p> <p>○建設生産の各プロセスにおける手戻り・手待ちをなくす</p> <p>○施工に従事する者の配置・活用の最適化を図る</p> <p>○工事の繁閑の波をなくす</p> <p>○建設生産の各プロセスにおけるICT化を進める</p> <p>○書類を簡素化する</p> <p>○周辺産業の人手不足の影響を緩和する</p> <p>○生産性の向上に取り組む建設企業を後押しする</p> <p>○活躍のフィールド拡大による収益力強化を促す</p>	<p>政策群②</p>	
	<p>多様な主体との連携による良質な建設サービスの提供</p>	<p>○建設産業の各プレイヤーの役割と責務を明らかにする（再掲）</p> <p>○施工の品質に直結する設計の質を高める</p> <p>○発注者の体制を補完する</p> <p>○顧客が安心して発注できる環境を整える</p> <p>○建設業で働く人の姿を「見える化」する</p> <p>○専門工事業の姿を「見える化」する</p> <p>○建設生産物の一部を構成する工場製品の質を高める</p> <p>○不正が行われない環境を整える</p>	<p>政策群③</p>	
	<p>地域力の強化</p>	<p>○地域の建設企業の役割を明らかにする</p> <p>○地域の建設企業の経営力を高める</p> <p>○地域に貢献する企業を後押しする</p> <p>○地域の多様な主体との連携を強化する</p> <p>○市町村の発注体制を補完する</p>	<p>政策群④</p>	